

No. 3023

2022-2023年度

会 長 井上 修平
幹 事 上野山栄作
R広報委員長 中村 吉伸



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2022-2023年度クラブ方針

「行動を起こして徳を積む」



本日のプログラム

令和4年12月1日 第3024回

- ・ 会員卓話：中村 吉伸君
「新型コロナウイルス感染症 オミクロン株について」
- ・ ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

令和4年12月8日 第3025回

- ・ 年次総会
- ・ ソング：「いざ友よ」

前回の報告（第3023回例会）

開催日 令和4年11月17日(木)

点 鐘 〔井上会長〕

ゲストの紹介

〔親睦活動小委員会 辻委員長〕

ゲスト：西岡 摩帆様(財団学友)

中野 均様(国際ロータリー第2640地区

ロータリー財団委員長)

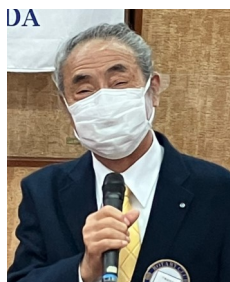
ビジター：凌 文彪君(米山奨学生)

米山奨学金授与



井上会長より
凌文彪君に
11月分の米山奨学金が
授与されました。

米山功労者表彰



ロータリー米山記念奨学会より
松村秀一君に感謝状が届け
ましたので、井上会長より授
与されました。

第7回 マルチプル

ニコニコ箱の報告

〔橋爪(誠)SAA〕

井上君：西岡さん、本日の卓話よろしくお願いします。中野さん、先日の地区大会ではお疲れ様でした。凌君、久しぶりです。コロナ第8波、皆様ご自愛ください。

上野山(栄)君：財団学友の西岡様、中野PG、ようこそ有田RCへお越し下さいました。本日よりお願い致します。

石垣君：西岡摩帆様、本日の卓話楽しみにしてます。

岩橋君：財団学友 西岡さん、卓話楽しみです。

上野山(捷)君：西岡摩帆様、本日の卓話ありがとうございます。

中村君：コロナも第8波に入ったようです。引続き、感染対策をお願いします。予防接種のため早退します。

松村君：西岡摩帆様、中野均パストガバナー様、ようこそお越し下さいました。ありがとうございます。

中元君：西岡摩帆様、本日の卓話よろしくお願いいたします。中野均財団委員長様、ようこそ有田RCへ。

川口君：西岡摩帆様、中野パストガバナー様、ようこそ有田RCへ。本日、どうぞ宜しくお願い致します。

木本君：西岡摩帆様、中野均様、ようこそ有田ロータリークラブへ。西岡様、本日の卓話宜しくお願い致します。

児嶋君：ようこそ有田ロータリークラブへ。西岡摩帆さん、本日の卓話よろしくお願いいたします。中野均さん、凌文彪君、本日よりお願いします。

菅原君：西岡様、中野様、ようこそ有田ロータリークラブへ。卓話よろしくお願いします。

橋爪(誠)君：西岡摩帆様、中野財団委員長様、ようこそ有田RCへ。西岡さんの貴重な体験談、勉強させて頂きます。

出席報告

〔例会運営小委員会 上野山(捷)委員長〕
 本日の会員数26名
 (出席規定免除会員8名)
 出席会員17名
 (出席規定免除会員6名)

会長の時間

〔井上会長〕

「おでん」

おでん、寒くなったら恋しくなりますね。おでん嫌いって人は少ないんじゃないでしょうか。鍋におでんの出汁を入れて種を下準備し、あとは炊きだけの料理です。

昔は大鍋で(土鍋)で炊いていたのを思い出します。最近では、2〜3人用のレトルトパックしたものや、コンビニおでんが主流になってきているのでしょうか。

おでんの種ですが、皆さんは何が好きですか？野菜の代表は大根でしょうか、牛筋や鶏肉、そして魚肉の加工品として竹輪など。因みに中国にも魚丸と言う鍋の種になるものが凌君の出身地の名産だと思います。

いくつもの種類の種が出汁の中で自分のエキスを排出し、複雑に混ざり合った出汁を吸収しておでん種は美味しくなります。出汁に1種類だけで炊いたら…。何種類もの種が入ることによっておでんになり、一層おいしくなります。

では、その種にそこらへんに落ちている石を綺麗に洗ってこの鍋に入れたら味は変わるのでしょうか？又この石はおいしいのでしょうか？石の表面に出汁が付いているだけで決して石の中には浸透していません。

ロータリーの例会に似ていませんか？お鍋は例会場、出汁は例会を準備する執行部で種は皆さんです。

1923〜24年のRI会長のガイ・ガンディガーさんはロータリー精神を理解している者はロータリアンでそうでない者はロータリークラブの会員と呼んだそうです。

自分の持つ知識を放出し、また他の会員が放出した知識を吸収し自己を改善する行為が親睦の元になる行為と考えます。

最後に、この知識を放出や吸収する行為には定年も卒業もありません。



コロナウイルスが増えているため、例会を止めることなく、コロナに対する危機感のある会員への対処方法を考える。次週執行部で検討。

2.11月のロータリーレート148円

3.公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会より
 ハイライトよねやま272が届く 回覧

4.2022学年度2640地区米山イヤーエンドパーティーのご案内 児嶋委員長に渡す

12月10日 13:00〜16:00

関空泉大津ワシントンホテル

5.メルボルン国際大会日本人親善朝食会の案内 回覧

6.FAXでもお伝えしましたが、手続き要覧の印刷版を2650地区が1,000円で販売します。必要な方は18日までに事務局にお伝えください。

7.例会変更 後方掲示

ロータリー友誼の紹介

〔クラブ広報小委員会 成川(雅)委員〕

【横組】

P.5 RI会長メッセージ

「心を込めてロータリーのストーリーを共有しよう」

ロータリーの会員の奉仕活動の謙虚さは美德ではあるが、ロータリーのストーリーを発信しないというのは勿体ないことである。

ロータリーの世間での受け止められ方が、私たちの未来を形作ることになります。

P.7-P.8 大規模プログラムの補助金

「女性の尊厳を再認識しよう」

大規模プログラム補助金「ナイジェリアの家族の健康に寄り添う」は対象とする地方自治体における母子の死亡率を最終的に25%減少を目的として活動しています。

P.19 向かう先はメルボルン

2023年ロータリー国際大会にむけ、今から計画をたてましょう。

P.26 インターアクト

「政治の仕組みに触れる」

第2710地区第45回インターアクト研修会で政治と選挙を模擬体験。

P.30 「友」70年 ウェブサイトをご活用下さい。

P.42 おいしい生活のためのヒント

伝統を守ること大切、新しい伝統をつくる柔軟性も大切。



幹事報告

〔上野山(栄)幹事〕

1.第5回定例理事会報告

①11月12月例会プログラム(案)について【承認】

②10月試算表(案)について【承認】

③新年例会について【承認】

・コロナ対策、席を交差しない対策として、演者を2組用意する。

・会費は家族とも8,000円とする。

④その他

例会の運営方法について



【縦組】

P.4 「人との出会い、人とのつながり」

中山 理氏 (Osamu Nakayama)

人とのつながりから学んだこと

1.「一生好奇心を持ち、学び続けよう」

2.「楽しんで学ぼう」

3.「ウェルビーイング」

つまり、自分の能力が発揮できることは重要であるが、それだけでは利己的になる。利他愛をもってして能力は

発揮できなければならない。

P.9 羽部 大仁氏 (HABU DAININ)

- 1.70歳で初の単身赴任
 - 2.21歳で御住職
 - 3.2014-15年度ガバナー
- ポジティブに生きる姿

P.17 どこで会っても「やあ」と言える？

(加茂) 大森 舜晃氏

P.20 旭川西ロータリークラブ

「幼い命を守るため手洗いをレクチャー」
地区補助金を活用し、カンボジアで活動

P.21 和歌山アゼリアRC/慶風高校IAC

「カンボジアの子どもの絵画展」

たことです。中でも5名のポリオサバイバーが登壇するセッションがあり、これまで直接ポリオに罹患した方々の経験を聞いたことはありませんでした。登壇者の一人である元車いすバスケットボール選手のAde Adepitan氏はポリオのワクチン接種目前にしてポリオに罹患したというお話を聞き、1秒でも早くワクチンを届ける大切さやポリオ根絶のための活動を続ける意義を改めて実感しました。

最後に、奨学生として留学を経験して、会員の方々との交流やサポートにより有意義な生活を送ることができ、勉学だけでなく現地の文化や価値観についても学びました。留学にあたってサポートしてくださったロータリークラブの皆様はこの場をお借りして感謝申し上げます。

委員会報告

※情報・研修小委員会〔上野山(栄)委員長〕

11月12日(土)シティ・イン和歌山ホテルにて、地区のクラブ情報規定委員長会議に出席いたしました。

※指名委員会〔松村直前会長〕

例会終了後、5階の経済クラブで第2回指名委員会を開催します。委員の方は出席よろしくお願いします。

卓 話



財団学友
西岡 摩帆 氏

「イギリスのロータリークラブでの思い出」

2640地区のグローバル補助金奨学生として、2018年にイギリスのノッティンガム大学経済学修士コースに留学させて頂きました。大学の頃から国際協力に興味があり、海外ボランティア活動や海外インターンシップを経験する中で、開発途上国で困難な状況にある人々の生活の向上に貢献する人材を目指すようになりました。開発学はイギリス発祥の学問であり、高度な経済学を学べ、開発途上国の障害者に係る研究を行っている教授が在籍していることから、ノッティンガム大学への留学を決めました。ノッティンガムはイングランドの中心部に位置し、ロンドンから電車で約2時間の距離です。ノッティンガム大学は広大なキャンパスを持ち、緑が多く自然が豊かな環境で勉強することができました。

また、受入先クラブであるWollaton Parkロータリークラブでは様々な活動に参加させて頂き、多くのことが思い出されます。クラブの例会への参加の他、クリスマスディナーに招待頂いたり、日本や自身のキャリアについてお話させて頂いたりしました。

特に印象に残っている思い出は、年に一度イギリスのクラブの目立った活動を報告する会議に参加させて頂い

閉会・点鐘

〔井上会長〕

本日の
例会風景

